

～精神疾患は三大疾患の一つ～
こころの健康推進をわが国の基本政策に



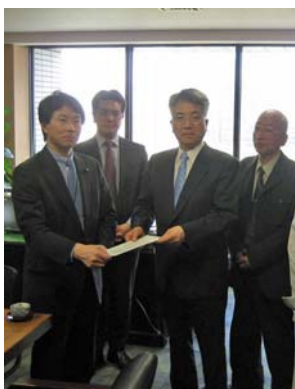
こころの健康政策構想実現会議

2011年 4月23日 号外 第3号

100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館
100万人署名推進委員会
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894
E-mail cocoro-syomei@mbf.nifty.com
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

◆東日本大震災発生後、震災復興に関する緊急提言を政府、および各政党の災害対策本部等に申し入れ



こころの健康政策構想実現会議では、緊急運営委員会、および政策調整委員会などを経て、震災復興に関する緊急提言（推進ニュース号外第2号をご参照ください）をまとめて、政府、および、各政党の災害対策本部、厚生労働委員の方々等に申し入れを行ってまいりました。

これまでの事務局等での対応状況について概略をご報告申し上げます。

4月13日（水）の午前中には、公明党のうつ病対策PTにおいて、構想実現会議の緊急提言についての説明の機会が与えられました。

同日午後の厚生労働委員会（災害復興特別委員会）においては、構想実現会議の提言について、公明党古屋代議士から提案がなされ、また、民主党の石毛代議士、みんなの党の柿沢代議士などからも、構想実現会議の緊急提言についての趣旨に関連する質問・提案がなされました。<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>

4月15日（金）の午後には、構想実現会議の緊急提言について正式な申し入れを細川厚生労働大臣宛に大塚厚生労働副大臣に提出いたしました。

大塚厚生労働副大臣に、構想実現会議そのものの説明もさせていただき、緊急提言の詳しい内容についてお話をさせていただきました。

副大臣からは、この復興を機に、日本のこれからの社会保障に関するモデルとなるような復興計画を検討したい。その際、是非、こうしたアウトリーチ型の相談支援体制の実現も検討したいと前向きなお言葉をいただきました。

副大臣との話の中で、構想実現会議としては、地域の保健師を支え、地域全体の精神保健に責任を持つ（キャッチメントエリア制）の保健型のアウトリーチの必要性を強調してご説明いたしました。

以上、各党、厚生労働委員会、厚生労働大臣に対しての緊急提言の説明、および申し入れの作業は、皆様のご協力と比較的にスムーズに進めることができました。第一次補正、おそくとも第二次補正予算の検討の際に、この提言が活かされることと思っております。

今後、引き続き、各党に対する具体的な政策提案等を継続していくことが求められます。

引き続き、よろしくお願い申し上げます。

衆院第1議員会館にて



大塚副大臣（右から2人目）に申し入れる構想実現会議のメンバー
15日、厚労省にて

◆緊急提言がホームページよりダウンロードできます

今回提出した東日本大震災発生後、震災復興に関する緊急提言は、“こころの健康政策構想実現会議”または“100万人署名推進委員会”のホームページよりダウンロードすることができます。

こころの健康政策構想実現会議 : <http://www.cocoroseisaku.org/>

100万人署名推進委員会 : <http://www.yadokarinosato.org/cocoro-syomei-p/>